

Press Release

**銀行跡地で企業・学生・研究者が議論！～交流から新たなビジネス・カルチャーを創造～
渡辺通 WG 実証実験 vol.2『わたなベース -Innovation が生れるまちには何が必要か-』の開催**

福岡地域戦略推進協議会(福岡市博多区/事務局長 石丸修平/以下、FDC)の渡辺通ワーキンググループ(リーダー 九州電力(株)/以下、渡辺通 WG)では、11月27日(月)～12月8日(金)に十八福岡ビル(渡辺通2丁目)にて実証実験を開催しますので、お知らせいたします。

FDCでは、福岡都心再生戦略に基づき、2022年6月に渡辺通WGを設置し、都心のイノベーション経済を担う拠点とするための方策を検討しています。今年6月の実証実験第1弾では、広場にワークスペースを設置、ワーカーがリフレッシュできる心地よい空間のニーズを確認しました。

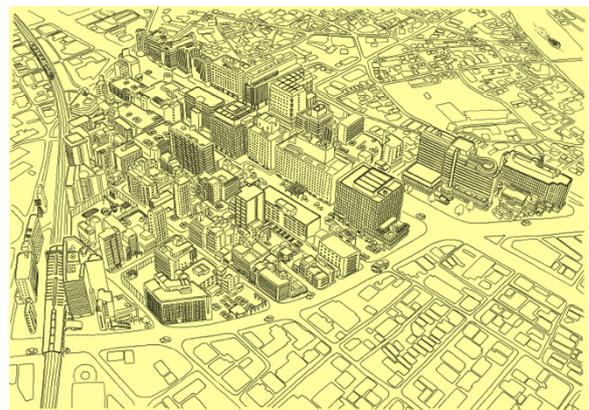
第2弾となる本実証実験では、まちのストックである空きビルを活用し、社会課題をテーマとしたワークショップを実施。議論を通じ、イノベーションが起きるまちに必要な機能について検証します。

記

1. 名称 渡辺通 WG 実証実験 vol.2『わたなベース -Innovation が生れるまちには何が必要か-』
2. 実証目的 イノベーション創出機能の検証
渡辺通エリアに企業や大学(学生、研究者)等が交流する場をつくり、社会課題の議論を通じ、新たな価値創造、イノベーションが起きるまちにはどのような機能が必要なのか、検証を行う
3. 実施期間 2023年11月27日(月)～12月8日(金) ※WSにより実施日は異なる
4. 実施場所 十八福岡ビル 1階(福岡市中央区渡辺通2丁目1-10) ※十八親和銀行跡地
5. 実施内容 社会課題をテーマとしたワークショップの開催
(渡辺通に関わるプレイヤーの抱える課題や渡辺通エリアの課題を設定し議論)
 - ①働きたくなる魅力的なまちとは (日時:11/27(月)、11/29(水)、12/1(金)午後)
 - ②企業とアートで何ができるか (日時:12/6(水)、12/7(木)午後)
 - ③サテライトキャンパスの可能性 (日時:12/7(木)午前)



左) 室内レイアウトイメージ



右) 渡辺通マップ

6. 実施主体 福岡地域戦略推進協議会 都市創造部会 渡辺通 WG(リーダー:九州電力(株))
7. 協力 アーティストカフェクオカ、九州大学都市設計研究室、(株)十八親和銀行、(株)電気ビル

以上

《本リリースに関するお問い合わせ先》

福岡地域戦略推進協議会(FDC)事務局 都市創造部会担当:中牟田、片田江、槇野

TEL:092-710-7739 e-mail:info@fukuoka-dc.jpn.com

(参考) 渡辺通 WG の概要等について

●渡辺通ワーキンググループの概要

- 設置目的：
 - ・ 福岡都心再生戦略で戦略的行動エリアと位置付けた渡辺通を中心とするエリアにおいて、ポストコロナのまちづくりの具体的な実践を始めるためワーキンググループを設置する。
 - ・ 渡辺通フォーラムや渡辺通シャレットワークショップから得られた示唆も踏まえながら、都心のイノベーション経済を担う拠点、人材の生活拠点となるエリアとするための方策を参加会員の知見を加えながら検討を深める。
 - ・ 先進地の視察などを通じ、社会実験など実践的な活動を行いながら、渡辺通エリアにかかわる人たちのまちづくりに対する機運を醸成する。
- 活動内容：現状把握、まちづくりビジョンの検討（当該地区の位置づけ、コンセプト、整備手法、時間軸）、先進地視察、社会実験の企画検討・実施
- WG メンバー：32 社・団体（WG リーダー：九州電力(株)）
 - (株)インターネットイニシアティブ、(株)LisB、(株)大林組、小柳建設(株)、鹿島建設(株)、九州電力(株)、九州旅客鉄道(株)、(株)QTnet、(株)Q'sfix、(株)九電工、清水建設(株)、住友商事九州(株)、積水ハウス(株)、損害保険ジャパン(株)、大成建設(株)、東京海上日動火災保険(株)、(独)都市再生機構、(株)豊川設計事務所、(株)西日本新聞社、西日本鉄道(株)、西松建設(株)、(株)ニトリ永瀬、日本電気(株)(NEC リュウシュンイノベータ)、パーソルテンプスタッフ(株)、パナソニック(株)エレクトリックワークス社、福岡市、(株)マイナビ、(株)三井住友銀行、三菱電機(株)、(株)Mellow、(株)リコー、(株)リンクブレイン
- オブザーバー：9 社・団体（渡辺通周辺エリアの地権者等）
 - (株)RKB 毎日ホールディングス、紙与産業(株)、サセルコビル管理(株)、サセルコビル商業・業務棟管理組合法人、中央地所(株)、(株)電気ビル、三菱地所(株)、パークینگ 303 ((株)サマルサン)、ホテルニューオータニ博多 ((株)ニューオータニ九州)

●渡辺通エリアまちづくりコンセプト案

エリア全体がオフィス／学校となりいつも活気にあふれる街

街をみんなのキャンパスに！

様々な属性の人の交流により、新たなビジネス・カルチャーを創造する街

※キャンパス：いわゆる大学のキャンパスだけでなく、Amazon 等の企業が働く場を「キャンパス」と呼ぶことから、新しい働き方・学び方の基盤、多世代が集う場となることを意図しています。

※本コンセプト案は、渡辺通フォーラム等の議論に基づく素案で、議論中のものです。今後、実証実験の結果を踏まえて検証・改善する予定です。

●渡辺通 WG 実証実験 vol.1 「わたなべース-スーツで行ける秘密基地-

■目的：渡辺通エリアのコンセプト案を体現する空間としてエリア内に「働く・学ぶ環境」を整備し、その効果と可能性を検証する。ワーカー、学生、地域の関係者など、まちづくりに関わる人を増やし交流を促進する。

■期 間 2023 年 6 月 19 日～30 日（土日は除く）10:00～19:00

■場 所 電気ビル共創館 1 階広場の一部、建物「アネックス」内

- 内 容 (1) まちのワーク/スタディスペースの設置
- (2) 働く・学ぶに関する交流イベントの開催
- (3) コミュニティマネージャーの常駐

■実証結果：休憩や作業、飲食できる場所を探していたワーカー、学生等が自由に使える椅子、テーブル、緑豊かな空間を高く評価。常設してほしいとの声も多数あり、利用者のニーズが高いことが検証できた。一方で、多様な属性の人々の交流から新たなビジネス・カルチャーを生むには仕掛けが必要。

